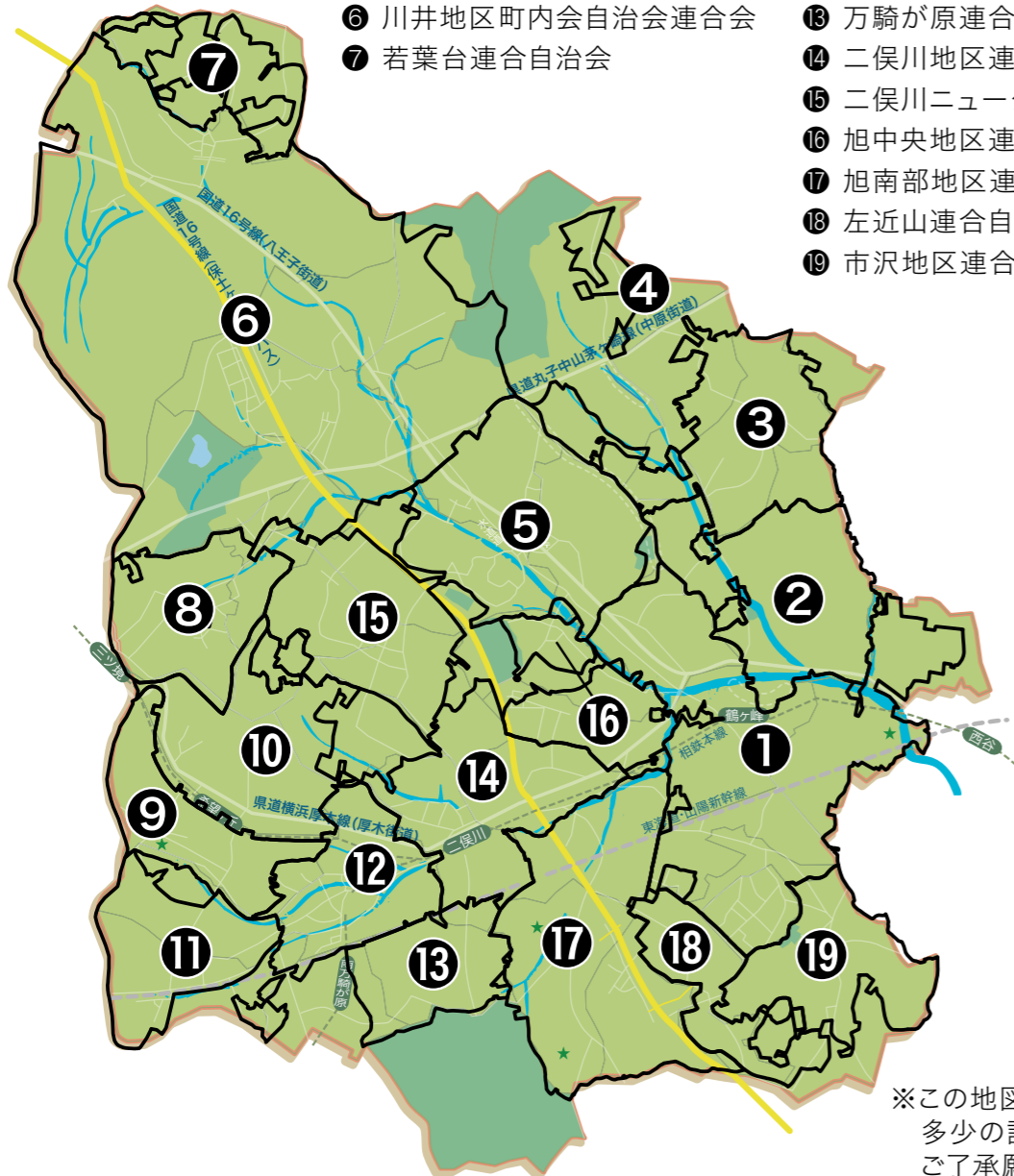


# 旭区の連合自治会町内会

旭区には地区ごとに結成された19の地区連合自治会町内会があり、地域のつながりを強化し、単独の自治会町内会では困難な広域的な事業や課題の解決に向けた活動を行っています。地域イベントの実施などにより、住民相互の親睦や絆を深めるとともに、防災・防犯・福祉・環境・交通安全などの各種活動に取り組み、地域での安心で快適なくらしを支えています。

また、単独の自治会町内会は旭区に236あり、横浜市内で最も多く、区民の約8割の方が加入しています。

- ① 鶴ヶ峰地区町内会連合会
- ② 白根地区町内会自治会連合会
- ③ 旭北地区連合自治会
- ④ 上白根連合自治会
- ⑤ 今宿地区町内会自治会連合会
- ⑥ 川井地区町内会自治会連合会
- ⑦ 若葉台連合自治会
- ⑧ 笹野台地区連合自治会
- ⑨ 希望が丘連合自治会
- ⑩ 希望が丘東地区連合自治会
- ⑪ 希望が丘南地区連合自治会
- ⑫ さちが丘地区連合自治会
- ⑬ 万騎が原連合自治会
- ⑭ 二俣川地区連合自治会
- ⑮ 二俣川ニュータウン連合町内会
- ⑯ 旭中央地区連合町内会
- ⑰ 旭南部地区連合自治会
- ⑱ 左近山連合自治会
- ⑲ 市沢地区連合町内会



※この地図は概略図のため、多少の誤差があります。ご了承ください。

## ① 鶴ヶ峰地区町内会連合会



旭区のランドマーク ココロット鶴ヶ峰



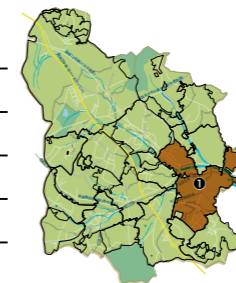
鶴ヶ峰地区連合鼓笛隊

鶴ヶ峰地区町内会連合会は昭和33年(1958)11月に設立されて以来、昨年で60周年を迎え記念式典を開催し、記念誌の発行もいたしました。連合会の年間行事として1月はどんど焼き、4月には観桜会、10月は運動会と四季折々に地域住民の方々が集い親睦を深めております。自然環境においても鑑の渡し緑道、帷子川親水緑道などの憩いの場所が多くあります。

さらに鎌倉時代の武将・畠山重忠公の遺跡群があり、中でも毎年6月22日には旭区観光協会主催による慰霊祭が開催され、関係地域からの出席者も迎え盛大に行っております。

その他として、鶴ヶ峰地区連合会鼓笛隊が「よこはまパレード」に40年連続出場し表彰を頂きました。

加入世帯数	9,018
連合設立	昭和33年
自治会町内会数	20
地区連合会長	峯宇 邦男





## ② 白根地区町内会自治会連合会

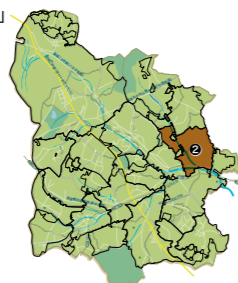


横浜市内最大の滝と称される 白糸の滝



大勢の人たちでにぎわう「白根カーニバル」

加入世帯数	4,377
連合設立	昭和 45 年
自治会町内会数	12
地区連合会長(顧問)	嘉村 訓价

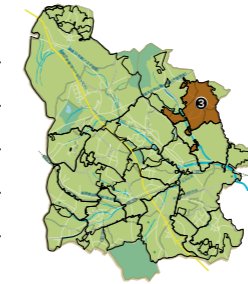


## ③ 旭北地区連合自治会



まちぐるみ 防災フェスタ

加入世帯数	4,892
連合設立	昭和 47 年
自治会町内会数	21
地区連合会長	渋谷 八郎



旭北地区は、里山ガーデン、ズーラシアや四季の森に近く、中堀川プロムナードなど自然環境に恵まれた丘陵地帯にあります。地区内の上白根地域ケアプラザおよび上白根コミュニティハウスを活動拠点として、「安全・安心な、夢のある、和み親しめるまちづくり」に取り組んでいます。特に、「まちぐるみ福祉推進会議」「まちぐるみ防災フェスタ」など、「まちぐるみ」を合言葉に、当地区の住民及び学校・企業・福祉施設等すべての人と協働で活動を展開し、平成21年度から取り組んでいる災害時要援護者支援の強化、小中高校生の地域活動への参画推進、生活環境の整備や交流の場づくりを推進しています。

当地区内の「中堀川プロムナード」は、清掃や花植え等の美化・交流活動を進めて、大人から子どもまであらゆる世代の「いこいの場」とし、近い将来、ほたるの生息をめざしています。



まちぐるみ福祉推進会議 (第4回)

中堀川プロムナードの美化活動



## ④ 上白根連合自治会

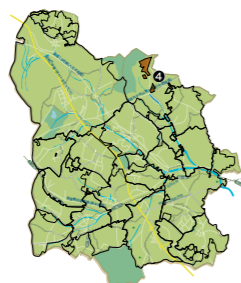


ふれあい広場



空から見た上白根地区

加入世帯数	738
連合設立	平成 6 年
自治会町内会数	3
地区連合会長	中野 保弘



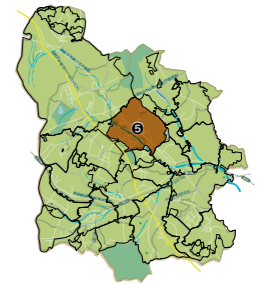
我が上白根連合自治会は近年ひかりが丘団地自治会が脱会、千世帯の小さい連合となってしまいました。それまで行っていた行事は出来なくなり子どものふるさとづくりの為「ふれあい広場」を立ち上げました。四季の森小学校の生徒による「ソーラン踊り」、上白根中学校の吹奏楽部の演奏や旭陵高校の吹奏楽部の演奏、ミニ運動会、また非営利法人の「ミニ蒸気機関車」を導入し子どもたちや高齢者にも大変喜ばれました。その法人が活動を停止、そこで旭警察署の署長にお願いし白バイが来てくれることになりました。上白根中学校のボランティア部の生徒たちが「あさひくん」の「着ぐるみ」を着たり、運営も手伝ってくれます。

地域では、高齢化が進み高齢者の買い物、通院や通勤通学時の中山駅へのバスの利便性向上の為「地域交通サポート事業」で区役所・市道路局と検討を重ねています。災害に強い地域作りでも、防災拠点の明かりの確保、ガス事業者との防災協定も締結します。

## ⑤ 今宿地区町内会自治会連合会



加入世帯数	4,592
連合設立	昭和 47 年
自治会町内会数	9
地区連合会長	栗原 郁夫



[今宿地区町内会自治会活動拠点]

昭和25年(1950)7名の地主さんから1446坪の敷地(今宿神明社所有)が提供されました。

1.目的は児童の健全な育成と安全な遊び場の確保、2.住民の憩いの場であり健康づくりの為、3.連合会、単位町内会、各社団体の活動拠点として利用

平成9年(1997)2月連合会館(延べ250.11㎡)が完成し、その年に今宿西町多目的広場として整備されました。以下連合会の年間活動に使用しています。

4月:桜まつり、5月:総会他役員会会場、6月:防災訓練(安否確認者訓練)、7月:盆踊り、9月:秋季大祭、演芸大会、10月:レクリエーション大会、1月:賀詞交換会、ドンド焼き、2月:輪投げ大会  
6行事時は約1,000人以上の方が参加



[今宿地区連合会自治会秋季大祭、夜の演芸大会風景]

今宿神明社神楽殿を使用、以前秋季大祭9月は19日と決められていましたが、近年には9月19日前後の日曜日に開催しており、グラウンドでは屋台が40件ほど出店します。

子どもさんからお年寄りまで世代を超えた交流が行われ、近隣の小学校、中学校の生徒さんが参加しています。また、まちの芸達者な方々が歌に、踊りに出演し、ゴザを敷いて町内の皆さんで秋の夜長を楽しんでいます。天候に左右されますが今まで中止になったことはありません。



## ⑥ 川井地区町内会自治会連合会

旭区の北西部に位置し、域内面積は19連合中最大です。大半は、市街化調整区域で、「矢指・追分市民の森」をはじめとする緑地や農地があり、美しい里山の風景を見ることができます。帷子川の源流があり、各地でホタルが見られます。上川井農業専用地区や下川井農業振興地区等の農地で生産される新鮮な野菜は、直売所などで販売され好評を得ています。地域のつながりが強く、連合会と地区社協との協働で、防災訓練、レクリエーション大会、演芸懇親会等で親睦を深めています。近年は住宅開発が進み、世帯構成が変化してきていますので、共生社会の醸成に向けて活動中です。



矢指・追分市民の森



加入世帯数	4,316
連合設立	昭和47年
自治会町内会数	10
地区連合会長	林田 司郎



演芸懇親会でのコマ

## ⑦ 若葉台連合自治会



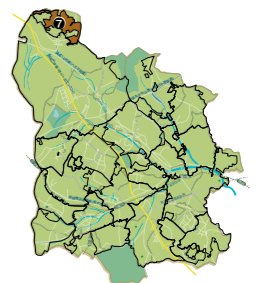
毎年、地域内外からの参加者で賑わう「若葉台正月マラソン大会」

2千3百発を超える豪快な花火に3万人が魅了される「若葉台夏まつり」



若葉台地区は、旭区の北端に位置し、40年前の昭和54年(1979)に入居が始まった住宅団地です。起伏に富んだ地形の中で溢れるような緑と、「百年マンション」を目指しリニューアルされた鮮やかに映える中高層住宅の景観には、目を見張るものがあります。連合自治会を中心とした活発な活動は年間を通して展開され、イベントだけでも、正月マラソン大会、駅伝大会、桜まつり、鯉のぼり、豪快な花火の夏まつり、運動会や文化祭などに多くの住民が参加し、賑わっています。全国平均より高齢化率が高いにも関わらず要介護認定率が低く「元気なお年寄りが多いまち」として認知されるとともに、県公社を含むオール若葉台で、世代をつなぎ、未来をひらく、持続循環型まちづくりを目指し「横浜若葉台みらいづくりプラン」を推進中です。

加入世帯数	5,169
連合設立	昭和60年
自治会町内会数	10
地区連合会長	山岸 弘樹





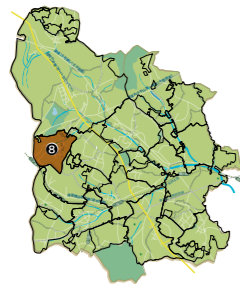
## ⑧ 笹野台地区連合自治会



5月笹野台緑地公園での「連合・社協合同研修会」での集合写真

笹野台地区は相鉄線三ツ境駅の北側に位置しており、戸建てが多く起伏がある住宅地です。1月の「どんど焼き」「新年賀詞交歓会」から始まり、5月「連合・社協合同研修会」では新役員の顔合わせ、「夏祭り・盆踊り大会」「体育祭」「敬老会」「防災訓練」のイベントに毎月各種「スポーツ大会」、地域ケアプラザでの「交流会」などの住民活動を展開しています。

高齢化社会が始まる中、社会福祉協議会と一緒に「きれいな街」「住みよい街」「安心して暮らせる街」づくりを進めています。



加入世帯数	3,837
連合設立	昭和 42 年
自治会町内会数	13
地区連合会長	大田 陽夫



笹野台小学校グラウンドを借りて「体育祭」

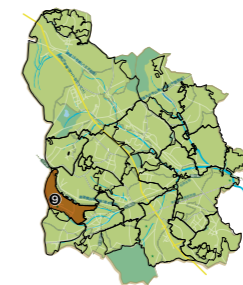
## ⑨ 希望が丘連合自治会



車いすでの参加(ふれあい大運動会)

希望が丘地区は、相鉄線の希望ヶ丘駅を中心に南側の丘陵地帯に開けた、落ち着いた住宅地で構成されています。横浜市第1号館として昭和48年(1973)にオープンした希望が丘地区センターがあります。地域活動は、納涼盆踊り大会、ふれあい大運動会、高齢者を祝う集い、防災訓練等多岐にわたっています。

また、将来発生するであろう大震災に備え防災拠点の整備、要援護者及び支援者の把握と調査等にも力を入れています。その他、あいさつの声を掛け合う「オアシス運動」への取組や、特殊詐欺被害予防対策等活発に取り組んでいます。当地区での問題点は、道路が狭く希望ヶ丘小学校に大型車両が入れないことで、現在横浜市で計画されている希望ヶ丘瀬谷線の計画道路の早期事業化をお願いしているところです。



加入世帯数	3,310
連合設立	昭和 38 年
自治会町内会数	12
地区連合会長	安藤 眞弘



希望ヶ丘小学校屋上からの富士山

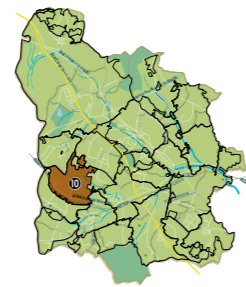


# 10 希望が丘東地区連合自治会



地区を代表する風景＝海拔92mの高さの春ノ木神明社からの富士山・大山を望む

希望が丘東地区は、希望ヶ丘駅北側一帯の南斜面丘陵地を中心とした地域であり、何本もの谷戸筋が複雑な地形を構成し、戸建て住宅と集合住宅が混在しています。



加入世帯数	5,396
連合設立	平成 6 年
自治会町内会数	22
地区連合会長	松本 榮次

現在は22自治会町内会、約5,500世帯が暮らし、人口はここ数年少しずつ増えてきているものの高齢化も進んできています。

連合自治会は「みんなで築く活力のある街」をスローガンに、社会福祉協議会や各種団体そして各自治会と協力して夏祭り、大運動会、地域一斉清掃、防犯パトロール、タウンミーティング、敬老のつどいなどを実施、子どもから高齢者までみんなで「ふれあい」「つながり」「見守り」「助け合い」「支え合い」、そしていつまでも安全に安心して暮らせる地域を目指しています。



子どもからお年寄まで約1500名が集う大運動会

# 11 希望が丘南地区連合自治会



南希の森緑地

加入世帯数	2,899
連合設立	平成 6 年
自治会町内会数	8
地区連合会長	丹野 康祐

希望が丘南地区は、南希望が丘地域ケアプラザが今年創立10周年を迎えました。福祉の拠点として、地域の行事を幅広く行っています。

地域のみなさんの顔が見られる機会として、運動会と防災フェスタ等の各行事に参加したくなるような行事を推進し、人と人のつながり(絆)を強くし、災害発生時に助け合いのできる仕組みを作り上げるため、地域防災拠点の組織の強化・防災フェスタの開催で防災の意識を高めます。

高齢者の増加と子どもの減少に配慮した行事づくりの構築が求められてます。学校関係等の連帯を大切にしていきます。



防災フェスタの風景



## 12 さちが丘地区連合自治会



伝統ある半ヶ谷囃子

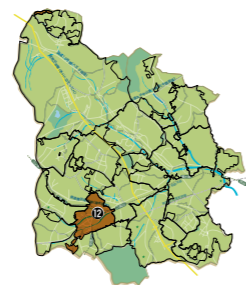
私たちの町の歴史は古く、鎌倉時代には人家があり、源頼朝系の畠山重忠公の親友でもあった榛ヶ谷御厨がこの土地を治めていました。もともと武蔵の国で都筑郡二俣川村大字半ヶ谷とっていました。それが明治4年(1871)、神奈川県となり、昭和14年(1939)には横浜市に編入し、横浜市保土ヶ谷区二俣川町となり、昭和39年(1964)には保土ヶ谷区さちが丘となり、更に昭和44年(1969)には旭区が誕生し、旭区さちが丘となりました。「さちが丘地区連合自治会」が創立されたのもこの時期で、当時はまだ緑が多く、朝起きて深呼吸をすると空気のおいしさがわかったものです。

その後、町は開け、市立さちが丘小学校が二俣川小学校から分校して独立し、昨年創立50周年を迎えました。次第に人家も増え続け、昭和51年(1976)には相鉄いずみ野線が「二俣川～いずみ野」間で開通しています。

一方そんな時代に伝統ある「半ヶ谷囃子」が小学校低学年から大人まで総勢20名ほどで活躍し、平成5年(1993)には横浜市無形民俗文化財保護団体として認定され、今日まで続いています。



旭まつり盆踊り大会



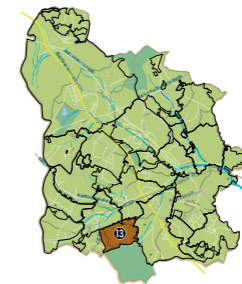
加入世帯数	3,917
連合設立	昭和 44 年
自治会町内会数	5
地区連合会長	玄野 孝善

## 13 万騎が原連合自治会



運動会の様子

加入世帯数	2,739
連合設立	昭和 34 年
自治会町内会数	18
地区連合会長	徳久 和彦



当地区が、神奈川県と相模鉄道のモデル住宅地として昭和33年(1958)から開発され、本会が、万騎が原連合自治会として創設時は、8自治会503世帯の規模でしたが、現在5倍以上に発展し、住みやすい住宅街として、関わっていただいたすべての皆様に、ご支援、ご協力に感謝申し上げます。

また、地域として、地名の由来の歴史を感じ、鎌倉時代の智・仁・勇を兼ね備えた、武将畠山重忠公の遺烈碑等をお守りしながら、「西に霊峰富士を望み、南にこども自然公園が我が庭園の如く控え住みやすい万騎が原」の自然環境豊かな地域を充分活かし、現代の地域社会の変化に遅れないよう心がけてまいれればと思います。

こども自然公園



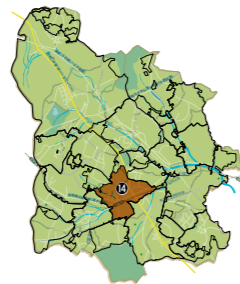


## 14 二俣川地区連合自治会



毎月10日に実施している防犯キャンペーン

加入世帯数	5,354
連合設立	昭和 38 年
自治会町内会数	16
地区連合会長	内田 紘司



二俣川地区は、平成30年(2018)4月、駅南口の市街地再開発事業による高層マンションと商業・業務棟ビルからなる「コプレニ俣川」が完成し、商業施設「ジョイナステラスニ俣川」がオープンしました。5月には、業務棟ビルの6階に地域住民待望の「二俣川地域ケアプラザ」が開設されました。一方、駅の北側には、区民文化センター、行政サービスコーナー、運転免許センター、がんセンター等の公共施設が多く立地しています。鉄道網では、相鉄線とJR線・東横線の直通運転の開始も決まり、街の賑わいや人の流れも更に大きく変化するものと予想されます。

また、同地区は、平成20年(2008)5月「防犯モデル地区」に指定され、「安心安全なまちづくり」を目指して、地域ぐるみの防犯活動が活発に展開されています。



空から見た二俣川駅南口再開発地区

## 15 二俣川ニュータウン連合町内会



ニュータウン大運動会のような

二俣川ニュータウンは約4,000世帯、11,000人が住む閑静な住宅地です。

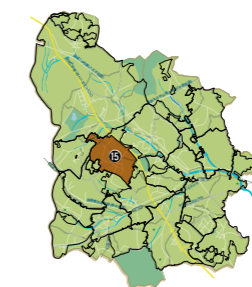
50年程前、東急建設が宅地開拓を行い、ニュータウンとして売り出しました。当初は、草木の茂る丘陵地帯を相鉄二俣川駅に近い方から第一町内会、第二町内会と街並みが整って来ました。

今では11町内会となり、第44回夏祭り、第42回運動会、マラソン大会等子ども大人も楽しめる自前の行事を毎年多く行っています。防災訓練も熱心に小学生、中学生、地域住民合同で取り組んでいます。

自慢の景色は写真のように、二俣川駅から運転試験場通りを経てニュータウンを抜ける道路の両側に映える銀杏・カエデ並木です。住んで楽しい、住んで良かった街をめざして今後とも頑張ります。



銀杏・カエデ並木



加入世帯数	3,983
連合設立	昭和 46 年
自治会町内会数	11
地区連合会長	野本 実



## 16 旭中央地区連合町内会

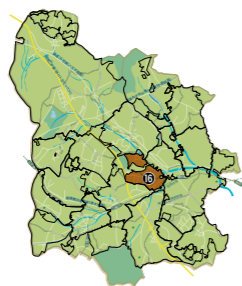


3世代ふれあいの集い会場風景



高齢者懇親会会場風景

加入世帯数	1,822
連合設立	昭和46年
自治会町内会数	5
地区連合会長	遠藤 章



旭中央地区はその名称が表すように、旭区のほぼ中央部に位置します。目標で表すと、旭区役所と旭警察署の間といえるでしょうか。南側には厚木街道・相模鉄道が通り、地理的な利便性は比較的良好いほうですが厚木街道以北は谷戸が入り組み、坂道が多いのが難といえます。

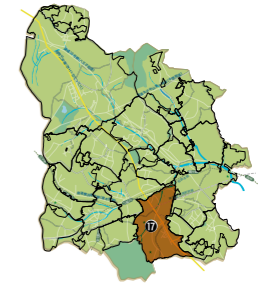
当地区所属の町内会は四季美台町内会・四季美台親睦会・今川町内会・上今宿町内会・下川町内会の5地区で構成され、各種の町内会行事を行っています。

特に秋の高齢者懇親会・年度末に行われる3世代美サイクルふれあいの集い等は、旭中央地区社会福祉協議会と共催若しくは後援という形で実施し、コミュニティバス運行にも力を入れています。

## 17 旭南部地区連合自治会



多数の参加者により親睦を深める運動会



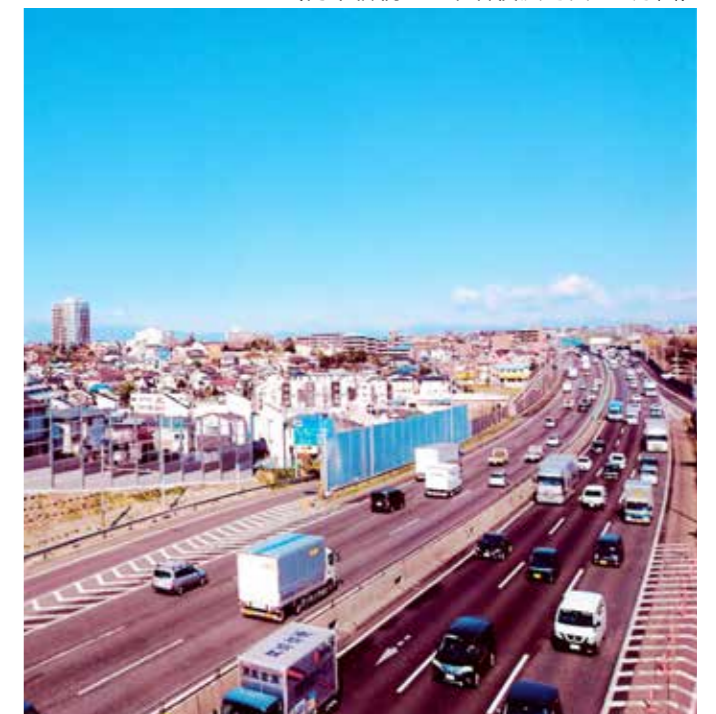
加入世帯数	3,700
連合設立	昭和46年
自治会町内会数	6
地区連合会長	福井 保男

地区を縦断する保土ヶ谷バイパス  
(南本宿橋から東名横浜町田I.C.方面)

旭南部地区は、二俣川駅より少し東に寄ったところにあり、南本宿公園・南本宿市民の森・こども自然公園など多くの緑に囲まれた住宅地と畑地です。地区の真ん中を日本有数の交通量を誇る保土ヶ谷バイパスが東西に走っているのと、地区の西側を東海道新幹線が走りぬけている交通の要衝となっています。

地区の特徴はといえば、何といたっても運動会でしょう。昔ながらの綱引きや縄跳びがあり、「大黒さんリレー」や「さわやかリレー」など、地区の特色ある競技で一日が過ぎていきます。最後はやっぱり自治会対抗のリレーで締めくくります。

6つの自治会が協力し合って、防犯・防災の活動を行っています。連合主催の「防災訓練」や「防犯の集い」を毎年行って住民の意識を高めつつ、きずなも強めています。



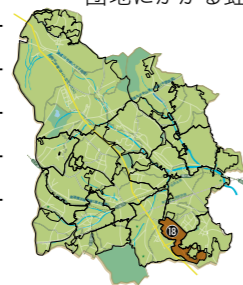


## 18 左近山連合自治会



団地にかかる虹

加入世帯数	4,342
連合設立	昭和 45 年
自治会町内会数	7
地区連合会長	林 重克



昭和43年(1968)に第1期の入居が始まり、初代の連合会長の筒井安忠さんが、南は沖縄から北は北海道からと全国各地から集まったお互いは、この左近山の地を第2の故郷にしよう、左近山コミュニティを築こうと呼びかけを行い、現在の左近山連合自治会の『住みよい、豊かな環境の整備された団地づくり、ふるさとづくり』が目標となり、活動を進めてまいりました。

今では、左近山団地、市沢団地地区が緑豊かな、住みよい街へと整備されてきましたが、残念ながら少子高齢化の波が、激しく襲いかかってきております。そのため、左近山連合自治会では、『NPO法人オールさこんやま』を結成し、多くの方々が集える居場所づくり「ほっと\*さこんやま」や、外出の手助けとなる「おでかけワゴン」の運行、子どもたちの居場所づくり「日曜ほっと」、小学生を対象とした塾ではなく勉強に興味の持てるような「さくら教室」等々を運営しています。

入居当時の念願であります「横浜高速環状鉄道」構想にも取り組み、中山駅以降左近山経由東戸塚方面への早期着工の活動を続けています。



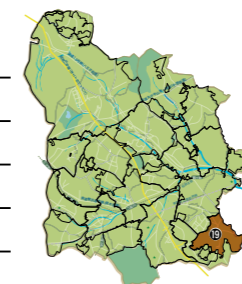
左近山連合自治会50周年記念式典

## 19 市沢地区連合町内会



芋煮会のような

加入世帯数	1,889
連合設立	昭和 43 年
自治会町内会数	6
地区連合会長	並木 淳一



市沢地区は、保土ヶ谷区と接する区の南東に位置し、戸建ての多い静かな地区です。平成13年(2001)に環状2号線が開通してから交通の便が良くなりましたが交通事故及び犯罪発生件数が増えています。

一方で、市沢の谷戸では今でもホタルが飛び交い、夏の風物詩となっています。また、広大な神田公園と隣接した市沢地区センターが市沢地区の活動の場となっております。

神田公園では、公園愛護会を中心に老人会、子ども会、地域住民で花壇の手入れ、芋煮会、グランドゴルフ等の活動をしています。

市沢小学校では、子どもたちと地域の交流イベント「市沢フェスタ」、「納涼盆踊り大会」、「町内会大運動会」等が行われています。文化活動では、毎年秋に「作品展」を開催して楽しんでおります。



市沢囃子連